

平成 1 0 年度試験研究成果

区分	指導	題名	県北地域におけるネギの 8 月出荷作型		
<p>[要約] ネギの播種期を、2 月下旬に設定することで、8 月中旬から出荷が可能となる。ただし、県北地域では、圃場準備が降雪等の影響で、定植時期が 4 月中旬にずれ込む可能性が高く、育苗期間がこれまで以上に日数を要するので従来のチェンポット (CP-303) より 1 穴当たりの培土容量の大きいペーパーポット育苗で手植え作業が必要となる。</p>					
キ - ワ - ド	ネギ	8 月出荷作型	ペーパーポット	県北農業研究所 産地育成研究室	

1. 背景とねらい

農業生産に制約条件が多い中山間地域の活性化を図るため、地域の立地特性を活用する現地適応技術の開発研究及び実証的研究を行い、産地育成のため「花と野菜の郷づくり産地育成事業」を実施した。今回対象地区である九戸村において年々生産量の増加しているネギについて市場単価の高い (図 1) 8 月出荷に向けての作型について検討を行い成果が得られたので紹介する。

2. 技術の内容

- (1) 播種を、2 月下旬に行い、定植を 4 月中旬に行うと、収穫は 8 月中旬から行うことが可能となる。(表 1、表 4、表 5)
- (2) 県北地域での早植え限界は、平均気温がネギの生育最低温度 5℃以上となる 4 月上旬と考えられる (図 2)。しかし、この時期は、例年降雪等の影響で圃場準備が 4 月中旬以降に遅れる可能性があり、育苗にこれまで以上の日数を要する。このため、1 穴当たりの培土容量が大きいペーパーポットを利用した育苗を行うことで、充実した苗の確保及び定植後の初期生育の確保ができることから、8 月中旬からの収穫が可能となる。(表 1、表 3、表 4)

3. 指導上の留意事項

- (1) 低温期の播種となるので、トンネル、電熱温床を設置し発芽及び生育を確保する。
- (2) 使用するペーパーポットは、使用する培土量、育苗面積等で特徴があるので (表 2) 適宜選択する。また、ペーパーポット利用のため、定植は、手作業となる。
- (3) 播種は、4 粒 / 穴とし、定植は慣行栽植本数を確保するため、株間 10 cm とする。
- (4) 育苗期の初期生育効果を収穫期まで持続させるため、培土作業等を適期に実施する。
- (5) この作型は、定植作業が手作業となるので、導入する場合作業分散、出荷期拡大の手段としてネギ経営の中に位置づける。
- (6) その他の耕種基準、管理作業は、ネギ慣行栽培に準ずる。

4. 技術の適応地帯

適応地域 県北部地域

5. 当該事項にかかる試験研究課題

野菜 3 - 2 - (4) - ア 県北中山間地における園芸品目の省力高品質技術の確立 (九戸村)
(ア) ネギの省力、高品質生産技術の確立

6. 参考文献・資料

北海道農業技術普及協会編 (昭和 62 年) 北海道の野菜栽培技術 < 葉茎菜編 > p191
 岩手県園芸試験場高冷地開発センタ - 平成 7 年度試験成績概要
 岩手県園芸試験場高冷地開発センタ - 平成 8 年度試験成績概要
 岩手県農業研究センタ - 県北農業研究所平成 9 年成績書

7. 試験成績の概要

表1 定植苗調査結果

試験区 No	は種期	定植期	品種	育苗ポット	葉数 (枚)	葉鞘径 (mm)	苗立率 (%)	乾物重 (20本当)	
								地上部 (g)	地下部 (g)
2/25	4/21	冬扇	144穴 [△] - ^ハ - ^ホ ット	3.1	3.6	84.2	2.79	0.30	
"	"	"	128穴 [△] ト-	2.1	2.8	82.5	1.48	0.18	
"	"	"	128穴 [△] - ^ハ - ^ホ ット	2.6	3.2	87.5	1.63	0.12	
"	"	吉蔵	128穴 [△] - ^ハ - ^ホ ット	2.6	3.2	91.3	1.82	0.12	
3/5	4/26	吉蔵	264穴 [△] ト-	1.8	-	95.0	0.68	0.05	

試験区 の調査は、平成10年4月14日実施 他は定植時に調査。

表2 各ペーパーポットの規格

試験No	ポット種類	規格(培土量/穴)	穴数/冊	冊数/10a	播種粒数/穴	植付け株間
	144穴 [△] - ^ハ - ^ホ ット	特No12 3.5cm角 高さ5.0cm(61ml)	144	70	4	10cm
	128穴 [△] ト-	3.1cm角 高さ4.4cm(25ml)	128	79	4	10cm
	128穴 [△] - ^ハ - ^ホ ット	No11 3.5cm角 高さ3.8cm(47ml)	128	79	4	10cm
	264穴 [△] ト-	CP-303 直径3cm 高さ3cm (23ml)	264	76	2	5cm

培土量/穴は、規格から概算した。

表3 生育調査結果

試験区 No	5月21日調査		7月31日調査	
	生葉数 (枚)	草丈 (cm)	生葉数 (枚)	草丈 (cm)
	4.0	40.0	6.6	86.2
	3.4	32.4	6.3	87.8
	3.3	39.0	5.7	87.4
	3.8	41.9	5.7	88.5
	3.0*	32.0*	5.7	85.7

*は平成10年5月29日調査

表4 収穫期調査(平成10年8月18日)

試験区 No	調整重 (g)	軟白長		茎径 (cm)	首のしまり	L級以上 比率(%)
		平均 (cm)	30cm> (%)			
	136.6	28.0	28.6	1.8	2.6	76.9
	139.6	25.8	0.0	1.8	2.7	73.4
	131.2	29.9	53.3	1.8	2.5	80.0
	139.3	31.1	64.3	1.9	2.9	85.7

首部しまり 葉鞘分岐部の硬さを1:不良~3:良で判断
試験区 は、収穫期にいたっていないため調査は未実施

表5 収穫期調査(平成10年8月24日)

試験区 No	調整重 (g)	軟白長		茎径 (cm)	首のしまり	L級以上 比率(%)
		平均 (cm)	30cm> (%)			
	146.6	37.0	97.2	1.9	2.8	91.9
	135.2	37.0	97.4	1.9	2.8	89.8
	147.8	36.3	97.1	2.0	2.8	88.6
	151.4	35.7	100.0	2.0	2.9	97.0
	128.2	29.7	35.0	2.0	2.8	90.0

首部しまり 葉鞘分岐部の硬さを1:不良~3:良で判断

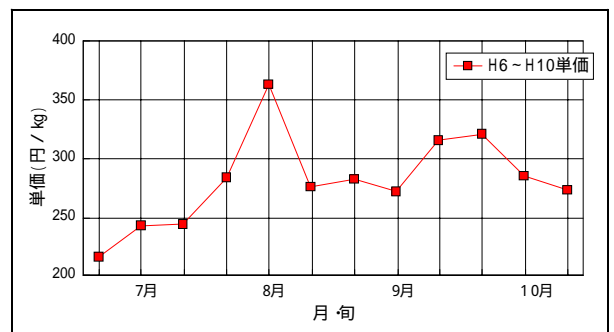


図1 岩手県の旬別ネギ平均単価 (H5~H10) (岩手県経済連出荷データから作成)

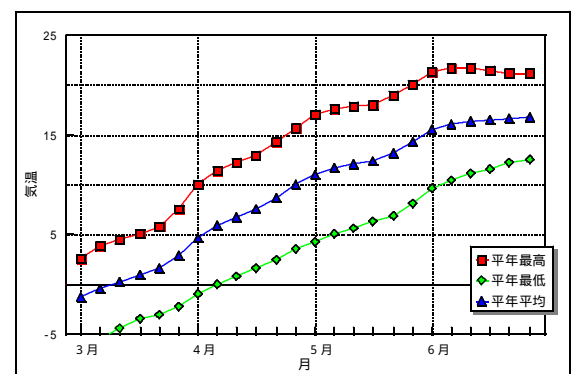


図2 軽米町の半旬別気温平年値 (アメダスデータ)